

ひろげる expand

つなぐ join

かえる change

6
2011

2011年5月25日発行
通巻150号

コラム

NPOと中間支援組織

株式会社キャリア・プレイス 代表取締役 伊藤 登代子

NPO物語 Vol.26

特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆

理事長 高橋 徹

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



株式会社キャリア・プレイス 代表取締役 伊藤 登代子

私は、1997年に三重県で初めての女性自立支援NPO「あいむネット」を発足させました。まだNPO法成立前なので、社会的には代表の個人事業とみなされ、納税や契約などは代表がすべて責任を負う形となっていました。

あいむネットのミッションは「女性の自立」。自立には、大きく分けて経済的自立・精神的自立があります。当時NPOとして経済的に自立するために、イベントやテープ起こしの仕事をつくり収益を確保しました。精神的な自立を啓蒙するためには、情報紙「あいむネット」に男女共同参画に関する情報を盛り込み、県内全域に5,000部無料配布していました。

これらのNPO活動で学んだことは、女性の自立はNPO自身の自立にも当てはまるということです。精神的自立については、言うまでもなくNPOのミッションです。経済的自立については、今も昔も変わらず多くのNPOが経済的に困窮しています。

ただ、中間支援組織に見られる一部のNPOは助成金を獲得する力や行政との強いパイプをしっかりと築き、恵まれた環境で組織を運営しています。各地域の中間支援組織の情報は、マスコミ等を通じてそれぞれに活動をしているように感じられますが、本来の仕事「地域のNPOにどの程度のサポートができていないのか？」は外部からは見えにくい状況にあります。中間支援組織自体に必要なのは専門知識・経験・ネットワーク力の3点。

少子高齢化時代となり、NPOも会社同様2極化がされたものが残ると思います。一つは、地域に根ざしたボランティアの延長のような「自分たちの楽しみ」を主とするもの、もう一つは、専門的知識を持ち社会的責任を担うもの。これらのNPOが地域で育つために中間支援組織の力は重要です。中間支援組織の評価は、各地域のNPOの活動値とも言えるかもしれません。NPO先進県である三重県に、地域性・専門性の高い中間支援組織が育つことを楽しみにしています。

助成金情報

📄 寄贈 🏃 スポーツ 🏠 福祉

🏠 福祉

勇美記念財団

2011(平成23)年度在宅医療助成公募

受付期間 6月10日(金) 当日消印有効

対象団体 在宅医療に携わる個人及びグループ

助成金の額 在宅医療研究への助成

助成総額:3,000万円(予定)、件数は未定

対象期間:1年間(平成23年8月~平成24年8月末)

市民講座開催への助成

助成総額:600万円(予定)、1件当たり上限30万円

対象期間:半年間(平成23年8月~平成24年3月末)

在宅死亡症例の剖検報告

助成総額:150万円(予定)、1件あたり上限30万円

対象期間:1年間(平成23年6月15日~平成24年6月15日)の間に論文を提出

応募方法 HPよりダウンロードした申請書に必要事項を記入し郵送。

問い合わせ先 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-1

全共連ビル麹町館

Tel 03-5226-6266 Fax 03-5226-6269

✉ yuumizaidan@nifty.com

HP <http://www.zaitakuiryo-yuumizaidan.com/main/jyosei.php>

📄 寄贈

みずほ教育福祉財団

配食用小型電気自動車(通称みずほ号)寄贈事業

受付期間 6月30日(木) 財団必着

対象団体 原則週1回以上、高齢者向けの配食活動を行っているボランティアグループ。NPO等非営利団体・法人を含むが、行政等から給配食事業の委託を受けているもの、及び社会福祉協議会は対象外。

寄贈内容 ・1グループ1台、10グループ程度の見込み
・1台 総額110万円を限度とする(車両登録費、ロゴ記載費、荷台改造費を含む)

応募方法 ①HPよりダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、都道府県・政令指定都市社会福祉協議会および各管内の市区町村社会福祉協議会または全国老人給食協会の推薦を受ける。
②都道府県・政令指定都市社会福祉協議会および各管内の市区町村社会福祉協議会、全国老人給食協会経由当財団、または当財団に直接締切日までに申込書を送付。

問い合わせ先 ・全国老人給食協会 事務局
Tel 03-5426-2547 Fax 03-5426-2548

✉ info@mow.jp

・都道府県・政令指定都市社会福祉協議会および各管内の市区町村の社会福祉協議会

・(財)みずほ教育福祉財団 福祉事業部(藤井)
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5

みずほ銀行本店内

Tel 03-3596-4532 Fax 03-3596-4531

✉ FJP36105@nifty.com

HP <http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

自分がそだち
人がそだち
組織がそだつ



防災講演会 私たちは今、何ができるか

3.11 東日本大震災という未曾有の災害を前にして、私たちに何ができるのか。そして、自分たちのまちに災害が起こったとき、どんな対応が必要となるのか。実際に被災地に行かれた4人の方の話をお聞きして、みんなで考えてみましょう。

ゲスト みえ災害ボランティア支援センター 山本康史さん、三重学生災害支援団体 teamM 植田大樹さん
桑名防災支援ネット 川瀬みち代さん、いなべ市副市長 城ヶ崎正人さん

日時 6月26日(日) 9:30~11:30

場所 いなべ市北勢市民会館2階 視聴覚室 いなべ市北勢町阿下喜 3083 番地 TEL 0594-72-2200

参加費 無料 **主催** いなべ市市民活動センター

防災講演会開催後、3回にわたって防災講座を行います。

第1回 7月16日(土) 9:30~11:30

いなべ市の現状はどうなっているの？

第2回 8月20日(土) 9:30~11:30

災害が起こったとき何が問題になるの？

第3回 9月17日(土) 9:30~11:30

みんなで考えるいなべ市の防災ボランティア

場所 いなべ市市民活動センター 会議室

※詳しい内容は右記問い合わせ先まで。



お問い合わせ先

いなべ市市民活動センター

いなべ市員弁町笠田新田 73-1

TEL 0594-74-5806

FAX 0594-74-5834

HP <http://www.city.inabe.mie.jp>
(電子申請もできます)

🏆 スポーツ

ヨネックススポーツ振興財団

平成 23 年度助成事業

受付期間 6月30日(木) 当日消印有効

対象団体 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励または自ら行い、かつその活動を3年以上継続して実施している団体。

①スポーツ振興を主たる目的とする一般社団法人又は一般財団法人

②前記①以外の団体であって以下の要件を備える団体

- ・定款、寄附行為に類する規約等を有すること
- ・団体の意志を決定し執行する組織が確立していること
- ・自ら経理し監査する等会計組織を有していること
- ・団体活動の本拠としての事務所を有すること

対象活動 青少年スポーツの振興に関する事業

助成金の額 指定の期間に予定する一つの事業予算の2分の1で概ね100万円以内。

(講師等の謝礼、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、スポーツ用具費、その他事業に必要な経費)

応募方法 HPよりダウンロードした助成金交付申請書に必要事項を記入の上、対象団体であることを証明する書類を添付して、当財団事務局まで郵送。

問い合わせ先 財団法人ヨネックススポーツ振興財団 事務局

〒113-8543 東京都文京区湯島 3-23-13

ヨネックス株式会社内

Tel 03-3839-7195 Fax 03-3839-7196

E-mail zaidan@yonex.co.jp

HP <http://www.yonex.co.jp/zaidan/joseikin.html>

🏠 福祉

太陽生命厚生財団

社会福祉に関する事業および研究に対する助成事業

受付期間 6月30日(木) 必着

事業助成 <ボランティアグループ等が行う事業への助成>

対象団体 地域福祉活動を目的とするボランティアグループおよびNPO(法人格の有無は不問)

対象活動 在宅高齢者または在宅障害者の自助・自立の意欲を引き出し、または鼓舞する等、その生活の支援に資する文化活動及び福祉活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用(動物及び植物を含む)に対し助成する。

助成金の額 1件あたり20~50万円、総額2,000万円。

研究助成 <老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査への助成>

対象団体 非営利の民間団体等および個人

対象活動 老人保健、老人医療、生活習慣病に関する研究または高齢者福祉に関する研究・調査。

助成金の額 1件あたり30~70万円、総額300万円。

応募方法 HPよりダウンロードした申請書に必要事項を記入の上、下記事務局まで郵送。事業助成・研究助成により申請書の様式が異なるので注意。

問い合わせ先 公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-11-2

太陽生命日本橋ビル内

Tel & Fax 03-3272-6268

HP <http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/index.html/>

E-mail **HP** ホームページ

NPO から寄せられた募集とご案内

県・企業との取り組みを提案しませんか

NPO 等からの 協働事業提案募集

NPO 等が日頃の活動を通じて見えてきた地域の諸課題に対し、県や企業等の多様な主体と協働して取り組む事業の提案を募集します。

対象 県内で民間・非営利活動を1年以上行っている団体

内容 ①自由提案
②県から募集するテーマに対する提案
※県から募集するテーマの内容・応募方法などの詳細は、下記のHPを参照、もしくはお問い合わせください。

応募締切 6月17日(金)

主催 三重県生活・文化部男女共同
参画・NPO室 NPOグループ

問い合わせ先 Tel 059-222-5981

Fax 059-222-5984

メール seiknpo@pref.mie.jp

HP <http://www.pref.mie.jp/NPO/>

発足13周年記念講演会

みえ生と死を考える市民の会 「妻を看取る日」

日時 6月18日(土)
13:00～15:00

オープニング：トランペット演奏
中村好江さん他

場所 三重県総合文化センター

大ホール

講師 垣添 忠生氏

(国立がん研究センター名誉総長)
(財団法人 日本対がん協会会長、
聖路加看護大学大学院特任教授)

参加費 前売券：一般 800円、
会員・学生 400円
当日券：一般 1,000円、
会員・学生 500円

主催 みえ生と死を考える市民の会

問い合わせ先 〒516-0805 伊勢市御園町

高向927「縁(えにし)の家」

Tel 0596-63-5226

Fax 0596-63-5238

※詳細はHPを参照

メール homecare@amigo2.ne.jp

HP <http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro/kakizoetirashi.pdf>

身近な社会問題を学ぶ

隠され続けてきた暴力 ～性暴力・性的虐待について考える～

今回は森田ゆりさんをお迎えして、性暴力は特異なものではなく身近な問題であり、社会の重要な問題であることを学びます。

日時 6月18日(土)
13:30～16:00

場所 三重県総合文化センター内
生涯学習センター 視聴覚室

講師 森田 ゆり氏
(エンパワメントセンター主宰
立命館大学客員教授)

参加費 1,000円(定員120名)

主催 (特活)女性と子どものヘルプ
ライン・MIE

後援 三重県社会福祉協議会 反差別・
人権研究所みえ

問い合わせ先 Tel 090-9223-3351

Fax 0595-21-8991

メール dvhelplinemie@yahoo.co.jp

一流シェフから教わる美味しいメニュー

夏のドイツ料理教室

ドイツやフランスでの研修経験豊富な元リーガロイヤルホテル総料理長の森塚茂徳さん(現在は奈良県御杖村の「お食事処山桜」料理長)を講師にお迎えして、ドイツ料理を学びます。

日時 6月26日(日)
13:30～16:00

場所 アスト津5階「食工房」
(津駅東口隣接ビル)

内容 キャベツとアミガサダケ(春きのこ)のスープ、牛肉と玉ねぎのビール煮込み、マッシュポテト、ツヴィーベルクーヘン(タマネギのケーキ)、カシスゼリー

対象 どなたでも

参加費 材料費と会場費の実費
※要申込み

持ち物 エプロン、台布巾、皿布巾

応募締切 6月22日(水)

主催 三重日独協会

問い合わせ先 Tel 059-232-0594(向井)

メール am.deutsch1685@gmail.com

HP http://www.ztv.ne.jp/apple/san_zhong_ri_du_xie_hui/Welcome.html

母乳育児の輪を広げよう

みえ母乳の会 第7回母乳育児フォーラム

赤ちゃんのすこやかな成長を願い、母乳育児を支援する専門家と一般市民の会です。出産に関するさまざまな分野の方と一般市民が母乳育児についての情報交換、研修を行い、母乳育児の輪を広げていくことを目的としています。

日時 6月26日(日)
14:00～16:00

場所 三重県総合文化センター内
生涯学習センター 視聴覚室

講演 「赤ちゃんとお母さんのこころ」
～心育ちと母乳育児～

講師 堀内 勤氏(聖マリアンナ医科大学名誉教授)

参加費 500円
(みえ母乳の会会員は無料)

主催 みえ母乳の会

問い合わせ先 みえ母乳の会 事務局

Tel & Fax 059-233-0166



写真で見る国際貢献

ペシャワール会 28年の歩み 現地報告写真展<人・水・命>

28年前、パキスタンへ医療活動のために入った中村哲医師は、医療以前にきれいな水の無い現実に直面。現地の人々とともに「医者井戸を掘る」プロジェクトを開始、やがて干ばつの大地に用水路が完成する。戦火と対極の国際貢献の姿を写真で紹介しします。

日時 7月1日(金)～7月4日(月)
10:00～19:00

場所 津センターパレス地下
市民まん中交流館 展示室

対象 市民一般

参加費 無料 ※申込不要

主催 (特活) 広河隆一非核・平和写真展開催を支援する会

問い合わせ先 Tel & Fax 事前: 059-229-3078

会期中: 090-1239-1410(宮西)

メール syashinten@za.ztv.ne.jp

HP <http://www.za.ztv.ne.jp/syashinten/>

環境先進国から活動のノウハウを学ぶ

第14回 環境ボランティアリーダー 海外研修参加者募集!!

セブン-イレブン記念財団は、環境ボランティアリーダーが環境先進国ドイツのNPOから組織運営や活動技術を学び、帰国後、研修で得た情報や経験、ノウハウを日本各地の活動現場で活かしていただくことを目的に研修参加者を募集しています。

- 応募条件**
- ①現在、日本国内外で、環境ボランティア活動の実践においてリーダーシップを発揮している、または今後リーダーシップを発揮したいと思っている方。
 - ②2011年10月下旬の海外研修参加が可能なる方。
 - ③研修帰国後、海外研修生の会である『環境ボランティアリーダー会』に入会し、地域の環境NPOへの情報提供や支援活動の連携が出来る方。

研修期間 10月18日(火)～10月27日(木)の10日間(予定)

研修場所 ドイツ

参加費 研修における渡航費、宿泊費及び10日間の研修参加費は、当財団が負担します。
※旅券印紙代、団体行動以外の飲食代、電話代、洗濯代、超過手荷物料金などは参加者負担です。(詳細はお問い合わせください)

募集人数 5名

研修内容 環境先進国であるドイツにおいて、ドイツ国内最大の環境団体や関係機関を訪問し、実際のプログラム参加を通し、環境NPOの活動例に学びながら、組織運営、資金調達、人材育成に焦点を当てた研修です。

- 応募書類**
1. 課題作文：PC(ワード形式)で4,000字以上、または400字詰め原稿用紙10枚以上
 2. エントリーシート：下記HPよりダウンロードし、必要事項を記入。
 3. ご自身が今までに取り組んできた活動等の資料。

※詳細はHP参照

応募締切 2011年6月15日(水)(消印有効)
※応募書類は郵送もしくはEメールで送付

問い合わせ先 一般財団法人セブン-イレブン記念財団 海外研修事務局(小野)
〒102-8455 東京都千代田区二番町8-8
Tel 03-6238-3872
Fax 03-3261-2513

メール kensyuu14@7midori.org

HP <http://www.7midori.org/katsudo/support/leader/bosyuyoko.html>

東日本大震災支援ボランティア

『みえ発!ボラパック』

第8～10便 募集

みえ災害ボランティア支援センターでは、東日本大震災で被災した岩手県山田町にて活動を行う災害ボランティアを下記のとおり募集します。

内容 第8便

6月11日(土)～6月18日(土)まで
第9便

6月18日(土)～6月25日(土)まで
第10便

6月25日(土)～7月2日(土)まで
(各便とも8日間・定員20名)

※現地の状況によって、募集人数は増減することがあります。
※全便とも、応募者多数の場合は、抽選後参加の可否をご連絡いたします。

※活動していただくには、必ず事前説明会への参加が必要です。

宿泊場所

岩手県山田町B&G体育館

費用

一人 往復1万円(片道5千円)

申込方法 HPにある申込書に必要な事項記入の上、メール又はファックスにてお申し込みください。

申込期間 出発日の前の週の木曜日まで

【思いで戻し隊・みえ】プロジェクトが始まります

津波で汚れてしまった写真やアルバム

などの思いでの品々を三重県でお預かりし、きれいにしてお返りする【思いで戻し隊・みえ】プロジェクトを始めます。「三重県内でできることを」と考えているみなさん、団体、市民活動センター、学校などでこのプロジェクトに取り組みませんか?

- 応募条件**
- ①公共施設など鍵のかかる作業場所を確保
 - ②参加者の募集・とりまとめ
 - ③必要物品の確保
- を担っていただく必要があります。
※詳細はHP参照

問い合わせ先 みえ災害ボランティア支援センター
〒514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階
みえ県民交流センター内
Tel 059-226-6916
Fax 059-226-6918

メール center@v-bosaimie.jp

HP <http://mvsc.jp/>

メール E-mail

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1)フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2)E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

河崎の町並みを守り、引き継ぐ

特定非営利活動法人
伊勢河崎まちづくり衆
理事長 高橋 徹

「河崎の町並みを活かし自立したまちづくり」がスタートライン

特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆の創設と経緯について教えてください。

もともと河崎のまちづくりは勢田川沿いの町並みの景観が壊され、立ち退きの話がでてきたことについて、それはおかしいのではないかという異義の申し立てから始まったという過程があります。そこで、そのときに、町並みの価値、河崎の価値に気付いていくというのがスタートラインです。それで、いろいろ話をして、立ち退かなくても改修できるのではないかという住民案を作って、行政と話してきました。

また、経済的な理由等で川沿いの蔵がなくなっていくという実態もありましたので、活動をわかりやすくするため、新たな仲間を増やすために「伊勢河崎・蔵バンクの会」を発足し、問屋街河崎のシンボルである蔵に焦点を絞り、空き蔵の活用を図り、河崎の町並みを保全する活動・仕組みを行ってきました。

そういう流れの中で、最終的に市長が決断されて、現在の伊勢河崎商人館になる商家の土地を買収、建物を整備し、管理運営を私たちが担うということになりました。そこから、本当の意味で、行政との協働作業が始まって、その過程の中で、自立するということを基本にしてきました。会の理念と責任を明確にするためにNPO法人化し、商人館の運営とまちづくりを進めることになりました。自立するには収益を上げなければ

ばいけない。河崎は商いのまちだったということで町並み保全と共に「自立すること」と、「商い」をキーワードにしました。



伊勢河崎商人館

町並み保全は暮らしの形に誇りを持つこと

団体のミッションは何ですか？

町並みの景観を守る・保全するというのが、このまちの宝物である歴史景観をはじめ歴史文化を活かしたまちづくりを育み、住民が町に誇りと愛着を持った地域を創造することができる。それを「町並み保全型のまちづくり」と言っています。景観というのはそのまちの暮らしの形です。だから景観を守るというのは、そのまちの暮らしの形を守っていくということで、人々がそこに住み続けることを示しています。また、そのこと



町並みをいかした河崎商人市

がよそから来た人に「きれいなまちにしているな、古いけど非常にござっぱりしている」というようなことを思ってもらえるなど、すべてにおいて住民の暮らし方が見える形で現れていることが大事で、そういう意味合いとしての「景観であり町並み保全」と言っています。

継続することでジャンプすることができる

どういったスタンスで活動しておられますか？

活動を継続していくところに神様は微笑むという部分があるように僕は思うんです。まちづくりの成果というのは、恐らくすぐには見えない。やっているところにある状況により天・地・人が合ってジャンプすることやと思うんですよ。そのタイミングって大事ですけど、やっていく中で学習をしていけば、ヒントは捕まえられるというか、あるいは、そういうことで人が助けてくれる。そういったスタンスで、活動していくということが持続するためには大切です。いつ花開くか、開かないかも分からない。だけれども、そういうことの中にしか開かないのではないのでしょうか。

ある意味、僕らは迷惑仕掛け人なんです

まちの人々との関わりの中で大切にしておられることは何でしょう？

さまざまな方と関わるまちづくり活動は特にコミュニケーションがすごく大事であって、コミュニケーションの不足とか取り方の間違いの中で問題も出てくる訳ですから、いかにコミュニケーションをうまくとるかが大事だし、それがうまくいけば皆さんが一緒になっていくことになると思います。

当然、僕らも気を使わないといけません。こちらはある意味では迷惑仕掛け人なんです。静かなところで「何かしましょうか」というのは迷惑にならないようにしていかなければならない。まちですから、みんなが皆同じ方向を向いているのも怖いことですし、いろんな方がいてね、まちを良くしたいという気持ちは皆一緒。ただ、取り方が違ったり感情論になったりするとき違う対立があるだけやからね。それは、徐々に変え

ていこうと頑張るしかないということやと思います。皆が「はいはい、いいですよ、いいですよ」ということはない。だから面白い。それがまちだと思うんです。それぞれ思いは違うし、温度差もあるわけです。僕らがいいと思っても、当然違うと思っている人も中にはいらっしゃるわけです。価値観の相違を認め合う中で合意形成をはかっていく姿勢はまちづくりには大切な心構えだと思います。

先人の知恵を生かし次世代へ繋げてゆく

将来展望をお聞かせください。

「河崎らしさ」というベースはきちっとしていかないといけない。枝葉ばかりをやってもいけないので、そのベースは河崎の歴史的町並み景観、問屋街の景観。地域ブランドというのは地域の景観におうところが大きいです。その「らしさ」を表しているのは積み重なってきた先人の知恵と技。先人たちがこの風土の中で培ってきた形があるわけです。それは理にかなっているわけですよね。それを活かしていく、残していくというのが、僕らがまた次の世代へ伝える為の一つの基本的な考え方であると考えています。

例えば、皇學館大学の学生たちが伊勢春慶の歴史の掘り起こしを行い、漆器の再生の大きな力になりました。ですからキーワードは「先人の知恵」とか「技」ね、技を活かして残して伝えて引き継ぐという、それが河崎の歴史文化を守り育て、創るということ。それを展開して、皆が自信と誇りと愛着持ってまちづくりを担って欲しいと思います。



皇學館大学の学生などによる河崎古文書調査

【データ】

〒516-0009 伊勢市河崎二丁目25番32号
Tel & Fax 0596-22-4810
E-mail machisyu@e-net.or.jp
ホームページ <http://www.e-net.or.jp/user/machisyu>
代表者 理事長 高橋 徹
団体設立年月日 1999年11月18日
NPO法人化年月日 1999年11月18日
会員数 100名
会費 2,000円

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時、取り上げます。

東日本大震災に関する寄付税制と税制改正大綱のゆくえ

2011年4月27日、東日本大震災に対応するための被災者支援税制に関する法律、第一弾が成立した。

認定NPO法人と中央共同募金会への活動支援金に対する税額控除方式を導入、被災者支援を行う認定NPO法人への寄付金を指定寄付金にするなどを含む内容になっていて、被災地への復興に大きな効果があると考えられる。

しかし、東日本大震災の復興に関する寄付税制の拡充で止まるのではなく、NPO界全体にこの流れが広がることにも期待したい。地域や社会の課題の解決に取り組んでいる多くのNPOが、引き延ばされた税制改正大綱などの税制改正の実現を、待ち望んでいることは間違いないのだから。

【参照: <http://www.npoweb.jp/modules/news1/article.php?storyid=3454>】

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日時 7月開催予定 13:30～16:00 (予定)

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は?職員を雇うときの手続きは?助成金をとりたいけれど…

先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

対象 NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日時 (1) 10:00～11:00 (2) 11:00～12:00
今後の予定

6月7日(火)、7月5日(火)、8月2日(火)

場所 みえ県民交流センター
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

相談員 特定非営利活動法人 みえ NPO センター
代表理事、事務局長、事務局スタッフから相談に応じて

問い合わせ先 みえ市民活動ボランティアセンター
TEL 059-222-5995



コーナー

県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

◆『コミュニティデザイン』

～人がつながるしくみをつくる～

著者: 山崎 亮

発行所: 学芸出版社 発行日: 2011年5月1日

◆「取り組もう、NPOの組織評価」

～中間支援組織の果たす役割～

科研費研究(2008年度～2010年度)「日本版ガイドスター作成によるNPO外部評価指標作成に関わる実証研究」報告書

発行者/発行所: 武蔵大学社会学部 粉川一郎

発行日: 2011年3月

認証した特定非営利活動法人

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地 ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

- ① 暖家
- ② 津市一志町高野 160 番地 799
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、人権、国際、その他
- ④ 2011年4月13日
- ⑤ 理事長 三宅 浩

- ① ふるりのゆめつなぎ
- ② 松阪市飯南町下仁柿 939 番地 3
- ③ まちづくり、文化
- ④ 2011年4月25日
- ⑤ 理事長 樋口 喜一郎

- ① MAYO
- ② 伊勢市神社港字三軒屋 306 番地 1
- ③ 保健、まちづくり、人権

- ④ 2011年4月25日
- ⑤ 理事長 石塚 敦

- ① KODOMO
- ② 尾鷲市大字向井 133 番地の 9
- ③ 社会教育、まちづくり、文化、環境、人権、子ども、職業能力
- ④ 2011年5月2日
- ⑤ 理事長 小西 義人

- ① 海の子シェアハウス すろうらいふ
- ② 鳥羽市大明西町 18 番 19 号
- ③ 保健、人権
- ④ 2011年5月9日
- ⑤ 理事長 濱口 聡

(2011年4月10日～2011年5月9日認証分)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

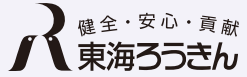
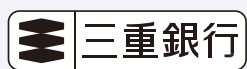
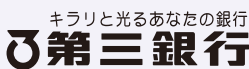
【地域の市民活動センター等】津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリポート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/ウイリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル光各薬剤薬局【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。